



再生可能エネルギー利用による住宅・建築物の省エネ

再生可能エネルギー（太陽光、太陽熱、空気熱、風力、温度差）

技術分野分類 5607：エネルギー学

技術キーワード F：自然エネルギーの利用

産業分類 D-06：総合工事業、L-74：技術サービス業

内 容	概要	一般的な住宅への普及を考え、単に高い効率を求めるのではなく、それ以上にコストを意識したものである。現在、空気式・水式併用の高効率集熱器、太陽光・熱ハイブリッドコレクター、太陽熱・空気熱・土壤熱のマルチ熱源ヒートポンプシステムの開発などを行っており、風呂排熱・換気排熱・下水排熱などのヒートポンプによる効率的利用、雨水利用に関する研究なども検討。
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	<ul style="list-style-type: none"> 低価格化することで、投資コストの早期回収ができ、地球にも家計にも優しい。 オール電化住宅で太陽熱を利用しているのは極めて稀であるが、これを可能としている。 イニシャルコストが早期に回収可能な施設園芸用補助暖房装置。
	本技術の有用性	一般住宅用、温室用 省エネルギー、コスト低減、環境負荷低減、差別化
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>住宅・建築物への ① 太陽光発電 ② 太陽熱利用 ③ 光熱ハイブリット ④ 地中熱・蓄熱 ⑤ 換気废熱 ⑥ 風呂残り湯 ⑦ 下水排熱 ⑧ ヒートポンプ利用(大気熱・地中熱等) ⑨ 雨水利用</p> <p>施設園芸における省エネ </p>
適用可能製品		地球温暖化防止、省エネルギー、プラスエネルギー、環境負荷低減、光熱費削減、温熱環境向上、高度自立循環型住宅、CO ₂ フットプリント
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	松尾 廣伸 静岡大学工学部電気電子工学科・助教
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 053-478-1718 / 053-478-1711 sangakucd@cjr.shizuoka.ac.jp

■知的財産 「建物の換気システム」

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2012年12月5日